

平成30年度 仮収支試算

(財政運営基本条例第16条関係)

【 29年度当初予算編成時における収支不足額（財政調整基金取崩） 】

(A) ▲532億円

【 30年度歳入歳出の29年度当初予算からの変動（一般財源ベース） 】

《 歳入 (B) 》 ▲60億円

<主なもの>

府税・地方法人特別譲与税	▲150億円
	(+360億円) *
税関連歳入	+80億円

《 歳出 (C) 》 ▲30億円

<主なもの>

人件費	▲40億円
社会保障関係経費	+180億円
公債費	+130億円
税関連歳出	▲330億円
	(+180億円) *

《 単年度収支の増減 (B - C) 》

(D) ▲30億円 (収支悪化)

【 30年度収支不足額 】

(A) + (D) ≒ ▲560億円

⇒ 予算編成過程で再精査の上、財源対策を検討

※財政調整基金残高(H29末見込)：956億円

★今後の変動要素

- ・府税収入の動向
- ・30年度地方財政計画、30年度税制改正等
- ・29年度人事委員会勧告への対応

* 府税・地方法人特別譲与税及び税関連歳出のカッコ書きは、府費負担教職員給与負担の政令市移管に伴う税源移譲の影響を除いたもの